

もくじ

- ② 東北地方太平洋沖地震に関する市長メッセージ／正しい情報があなたを守ります
- ④ 平成23年度 鈴木尚市長の施政方針
- ⑦ 新副市長紹介
- ⑧ 平成23年度 富士市の当初予算
- ⑩ 第二次環境基本計画
- ⑫ 暮らしのたより

3月15日(火) 22時31分

静岡県東部を震源とする地震が発生
市内で震度5弱を観測

(被害の多かった大淵地区の状況)



東北地方太平洋沖地震に関する

市長メッセージ

平成23年3月

3月11日、三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生しました。我が国観測史上最大のマグニチュード9.0を記録し、揺れによる被害のほかに、大津波の襲来、大規模な火災の発生、原子力発電施設の事故など、広範囲で未曾有の大災害となっております。この地震によりお亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様には心からお悔やみを申し上げます。また、被災された皆様の心中をお察いたしますと痛恨の極みであり、被災地の日も早い復興を願ってやみません。

報道などにより日々伝えられる、目を覆いたくなるような惨状の数々は、東海地震の発生が危惧されている本市としまして、とても他人事とは思えません。既に福島県に緊急消防援助隊を派遣し、ひたちなか市などに緊急物資を搬送したところですが、継続的に、できる限りの支援、協力をしていきたいと思えます。また、節電や節水は、被災した皆様に向けて、私たちがいますぐにできる支援の一つだと思えます。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本市でも、3月15日に発生した震度5弱の地震や計画停電などにより、市民生活にもさまざまな影響が出ております。市民の皆様におかれましては、不安な日々を過ごされていることと思いますが、慌てず落ち着いて行動して下さるようお願いいたします。



緊急特集 地震の備えは大丈夫!? 正しい情報があなたを守ります

東北地方太平洋沖地震に続き、3月15日夜、富士市を襲った震度5弱の地震に、驚き、不安を抱いた市民の皆さんも多かったと思います。人命にかかわる被害がなかったのが不幸中の幸いとは言え、大淵や富士見台、吉永北、松野地区などで多数の物的被害がありました。地震に備えるためには、正しい情報を得ることが重要になります。

■地震の規模■ ※数値は暫定値

地震発生 3月15日 22時31分

震源地 静岡県東部

地震の規模 マグニチュード6.4

震源の深さ 約14キロメートル

市内の震度 震度5弱(市内観測点)

■被害状況■

人的被害 23人

物的被害 総数2905件

(内訳) ※3月24日現在

かわらの落下・ずれ	1589件
外壁の亀裂・崩れなど	475件
内壁のひびなど	391件
ブロック塀の倒壊	253件
石垣・石積崩れ	65件
窓ガラスのひび・割れなど	132件

被害の発生と東京電力(株)の計画停電による市民生活の混乱により、市民の皆さんからは「停電の時間は?」「罹災証明の発行は?」「原発事故の影響は?」など、市役所に多くのお問い合わせをいただきました。

こうした時に大切なのが「正しい情報」。市は、防災情報をさまざまな方法で市民の皆さんに発信しています。時間や環境により情報を入りにくい場合がありますが、できることなら複数の情報手段を確保していただくことをお勧めします。

「ピンポンパン」こちらは広報ぶじです」

同報(広報) 無線放送

市内396か所のスピーカーから、地震や災害の情報をいち早く、一斉にお知らせします。音が重複しないよう放送しますが、周囲の騒音や風向きなどにより、よく聞き取れない場合があります。また、密閉性の高い住宅では、家の中の聞き取りは困難です。そんな場合は窓を開けて聞いてください。



同報無線メールサービスで 正確な情報を得よう

「同報(広報) 無線が聞き取りにくい」という人で、携帯電話やパソコンでメールを行うことができる人にぜひお勧めするのが同報無線メールサービスです。メールにより放送内容を文字で確認できるので、正確に情報を得ることが出来ます。このサービスの登録は無料(通信料はかかりません)です。

計画停電実施時にも配信していますので、ぜひご利用ください。



3月15日に発生した地震による市内の被害状況

- 地震が発生した場合の心得
 - 机などに頭から潜り込み、身を守る
 - 津波注意報や警報が発表されたら、すばやく海岸から離れて高台などに避難
 - 戸を開けて、出入口を確保
 - 揺れがおさまったら
 - 火の元の点検と家族の安全を確認
 - 自宅の被災状況を確認
 - 近所の様子を確認して、安全な場所に移動
 - 家が壊れてしまったら
 - 町内で決められた集合場所に集まり、指定の避難場所に行く

簡単に登録できます

同報無線メールサービス

登録方法

登録する前に確認

携帯電話で登録する場合は、登録作業を行う前に左記のアドレスからのメール受信を許可してください。

bousai@div.city.fuji.shizuoka.jp

- ①配信を希望する携帯電話・パソコンから、同報無線メールサービスの指定された左記のメールアドレス、または下記のQRコードから空メールを送信

fujimusen@mpne.jp



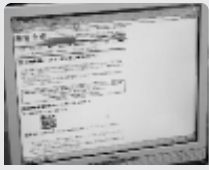
※件名や内容は入力しないでください。
※市ウェブサイト、モバイルサイトから直接送信できます。

- ②折り返し、メールサービス登録サイトへのURL（リンク）が書かれたメールが届く

- ③メールに書かれたURL（リンク）をクリックし登録サイトに接続

- ④氏名、性別、生年月日を入力し、登録ボタンをクリック

- ⑤登録完了メールが届けば登録完了



市ウェブサイトから直接送信



携帯電話に同報無線情報が配信

防災ラジオでも

同報（広報）無線放送が聞けます

これまで市で販売してきた防災ラジオですが、ご家庭で眠っていませんか？
防災ラジオでAM、FM放送を聞いている間に同報（広報）無線が流れた場合、強制的に割り込んで同報（広報）無線放送が流れます。

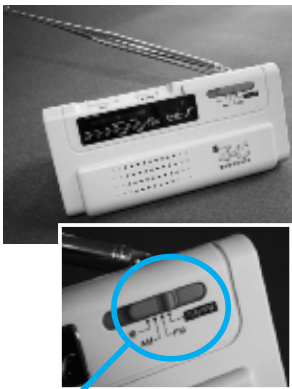
ラジオは情報満載

さらにFM放送の84.4MHzに合わせれば、富士地区の情報満載のコミュニティ放送Radio-f（ラジオエフ）を聞くことができます。ラジオエフは、同報（広報）無線の内容をラジオ放送中

でも伝えるほか、地域の重要な情報も流します。ラジオを聞きたくない場合には、右上の赤いスイッチを同報無線に合わせ電源を入れておけば同報（広報）無線放送が流れた時のみ、放送が自動的に流れます。

なお、ラジオでの同報（広報）無線放送が入りにくいという人には、別売りのアンテナの設置をお勧めしますが、効果を確保するため、まず防災危機管理課で貸し出しを受けてください。

※今回の地震で防災ラジオは完売しましたが、再販売する場合は広報紙などでお知らせします。



このスイッチで切りかえてください

市ウェブサイト

新情報入手しよう

計画停電や生活支援情報など今回の地震に関連した情報は、市ウェブサイト毎日更新しています。パソコンでインターネットを使用できる環境にある人は、ぜひご利用ください。

市ウェブサイト

<http://fujishi.jp>

※モバイルサイト（携帯電話）でもご覧になれます。

<http://fujishi.jp/mobile>

掲載されている情報

○計画停電情報 鉄道・バス運行状況、被災地の救援についての情報、福島第一原発事故に関する情報など

こちらからも情報を見ることができます

計画停電情報

●東京電力（株）ウェブサイト

<http://www.tepco.co.jp/>

●東京電力（株）計画停電ご案内専用ダイヤル ☎0120(925)433

●東京電力（株）沼津カスタマーセンター ☎0120(995)902

福島第一原発事故に関する情報

（静岡県ウェブサイト）

<http://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/2011sanrikuoki/soudanmadoguchi.html>

地震関連情報に関するリンク

防災危機管理課

☎(55)2715 FAX(51)2040

●メールや市ウェブサイトに関するリンク
広報広聴課

☎(55)2736 FAX(51)1456

笑顔としあわせを未来へつなぐ富士市づくり 断行の年

鈴木尚市長は、市議会2月定例会で平成23年度の市政運営の考え方と重点施策を盛り込んだ「施政方針」を発表しました。今回は、平成23年度に行う主な事業を紹介します。

施策の概要1

安全で暮らしやすいまち

凶悪な犯罪、悲惨な交通事故、消費生活上のトラブルや予測不能な災害にも適切に対処し、市民が安心して暮らせるまちづくりを進めます。

防災対策

- 風水害や土砂災害への対策の啓発
- 地域防災無線にかわる新しい無線設備に移行
- 地域の助け合いによる災害時要援護者への支援体制を整備
- 木造住宅耐震補強への補助
- 無料耐震診断の推進

治水対策

- 主要河川の改修
- 雨水浸透施設、貯留施設の設置促進

消防・救急・救助体制

- 鷹岡分署の移転改築
- 中央消防署の小型動力ポンプ付水槽車の更新
- 西消防署の水槽付消防ポンプ自動車の更新
- 消防第6・22分団の詰所の改築
- 消防第9・30分団の消防ポンプ自動車の更新

防犯交通安全対策

- 地域における活動の強化と関係機関や関係団体との連携を図り、「第9次富士市交通安全計画」を策定
- 公証役場など外部機関による相談体制の充実

施策の概要2

健やかに安心して暮らせるまち

すべての市民が健康で安心して暮らすために、一人一人のニーズに応じた健康への取り組みと質の高い医療サービスを提供します。また、安心して子どもを産み育てることのできる環境を整備し、支援を必要とする人へ適切なサービスを提供できるよう、行政と地域が一体となって、互いに支え合い、助け合うまちづくりを進めます。

子育て支援

- 放課後児童クラブの施設整備と運営支援
- 保育所型認定こども園の建設を支援
- 市内東部地区への児童館建設の実施設計

保健医療

- 中・高生を対象とした子宮頸がん予防ワクチン接種事業の実施
- 小児用肺炎球菌ワクチンやヒブワクチン接種の無料化
- ワクチンや性に関する正しい知識の普及

福祉

- 「第3次富士市障害者計画」の策定
- 「第5期介護保険事業計画」の策定

- 地域の主体的な声かけや見守りの体制づくりの支援
- 特別養護老人ホームや介護老人保健施設のほか、地域に密着した小規模多機能型居宅介護事業所などの施設整備の支援
- 「(仮称)富士市DV防止基本計画」を策定し、DVの防止と被害者への支援

地域の主体的な声かけや見守り体制づくり



災害時要援護者の支援

施策の概要 3

産業が交流するにぎわいのまち

商業、工業、農林水産業の連携を図り、新たな産業の創出や産業の交流、観光振興など、にぎわいと活力ある産業都市を目指した施策を推進します。

産業・工業振興

- 大型船舶受け入れに対応する田子の浦港の増深事業の推進
- 企業立地促進奨励金制度による企業活動の支援や工業基盤整備
- 富士山フロント工業団地への誘致活動
- 小規模企業者貸付制度の充実
- 「次世代産業開拓セミナー」の開催
- 産業支援センター「f・B・i z（エフビーズ）」を拠点としたあらゆる相談に対する支援

商業振興

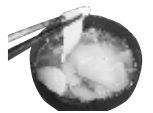
- 「つけナポリタン」や「富士山ひらら」などのご当地グルメの普及と地域ブランドの確立
- 富士TMOの支援

産業交流・観光

- 紙産業と文化にスポットを当てた「紙まち文化プロジェクト」の推進
- 富士山観光交流ビューローの法人化



つけナポリタン



米粉100%の富士山ひらら

富士地域材の富士ヒノキ



- 富士川楽座の立体駐車場の建設
- 地域の「食」をテーマとした関連業種の交流を進め、富士山ネットワーク会議4市1町（富士市、富士宮市、御殿場市、裾野市、小山町）の共催による「富士のふもとの大博覧会」の開催
- 職業体験事業「キッズジョブ2011」の開催
- 富士商工会議所、富士市商工会との協力による、富士市内合同企業ガイダンスの実施

農業・林業振興

- 後継者の確保と育成
- 耕作放棄地の再生支援
- 「(仮称)富士市農業振興ビジョン」の策定
- 富士ヒノキの家建築助成事業の継続実施

施策の概要 4

人と自然が共生し環境負荷の少ないまち

環境負荷の少ない資源循環型社会を形成するため、市民、企業、行政が協働して省エネルギー、リサイクル、廃棄物の排出抑制など、環境に配慮した活動に日常的に取り組むとともに、豊かな山林や生態系などを保全し、美しい自然、良好な水循環を後世に引き継ぎます。

環境

- 太陽光を利用した住宅用発電システムの設置費を補助
- 太陽熱を利用した次世代型ソーラーシステムの設置費を補助
- ごみ集積所適正管理のための奨励金制度を実施
- 段ボールコンポスト「だつくす食ん太くん」の普及とごみ減量化の推進
- 新環境クリーンセンター建設の推進
- 市独自の環境マネジメントシステムの実施

上水道

- 岩松第2配水池や予備水源地の整備
- 富士川上水道の遠隔監視設備の整備と地下水源の調査

下水道

- 鷹岡、今泉地区などの管網整備の推進
- 合併処理浄化槽の設置と適正な維持管理の促進



段ボールコンポスト「だつくす食ん太くん」

環境フェア



魅力ある教育を実現するまち

子どもたちが夢や希望を持ち、個性を生かし、人のため、社会のために行動できる人となるよう、教育環境を充実させ、幅広い学びや生涯スポーツの機会を創出するとともに、地域に根差した文化の継承と創造的な文化活動を推進します。

学校教育

- 児童・生徒への学習支援の充実
- 小学校高学年の外国語活動や中学校の英語教育の環境整備
- 特別支援教育の充実
- 全教員へパソコンを配備
- 教育相談機能や教職員の研修、研究機能をあわせ持つ（仮称）教育複合施設の建設準備
- 田子浦中学校屋内運動場の改築

図書館

- 検索や貸し出しなどのコンピュータシステムの更新
- 富士文庫所蔵の貴重資料のデジタル化
- 3歳児を対象に絵本の配布などを行う「セカンドブックふじ」事業の実施

市民文化・スポーツ振興

- 市展や総合文化祭の開催、市民文芸の発刊、紙のアートフェスティバルの実施

社会教育

- 文化芸術懇話会の設置
- 富士ふれあいウオークや各種スポーツ教室の実施
- 市民大学の充実
- 各地区まちづくりセンター講座の実施
- 青少年の船、雫石町少年交流事業、青少年センターでの教養講座の実施

- 青少年相談所における不登校児童・生徒の相談事業の実施

青少年の船



人にやさしい便利で快適なまち

地域の特性を生かした、適正な土地利用にぎわいのある都市空間の創出、潤いのある景観形成を目指します。また、すべての人に便利でやさしい公共交通、道路、公園などの整備を進めます。

都市計画

- 富士市都市計画マスタープランの見直し
- 新富士駅周辺環境の改善を図るため、ふじさんめつせ周辺の道路整備
- 富士駅周辺地区や吉原地区の市街地再開発事業の支援

- 新富士駅南地区及び第二東名インターチェンジ周辺地区の整備

道路

- 新々富士川橋に関連する、五味島岩本線や中島林町線を整備

交通

- 左富士臨港線及び一色小沢3号線、柏原江尾線の整備
- 宮島五貫島線、上町小山線などの歩道整備
- 本市場大淵線（第二東名へのアクセス道路）の整備
- 臨港富士線の自転車歩行者道の整備
- 吉原中央駅南側に駐輪場を設置
- 須津・浮島地区コミュニティバスなどの実証運行

景観

- 路線バスやひまわりバスの運行支援
- DMV（デュアルモードビークル）導入課題の調査、検討
- 「（仮称）富士市屋外広告物条例」を制定
- 六所邸跡地を含む吉原公園の再整備推進
- 比奈公園、原田公園、富士川兩岸の緑地の整備

市営住宅

- 高齢者に配慮した住戸改善事業、高齢者などの見守り支援の実施
- 大柴窪団地や四丁河原団地などの改修

ひまわりバス



施策の概要 7

市民と創る新たなまち

次代を見据えた強い行財政基盤を確立するとともに、市民と行
政が新たなパートナーシップを構築しながら、市民の力、地域の
力を発揮できる協働のまちづくりを進めます。

コミュニケーション活動

● 伝法まちづくりセンターの
改築、今泉まちづくりセン
ター分館の耐震化

● 地区まちづくり活動のさら
なる活性化を目指すため、
富士市まちづくり活動推進
計画を策定

● NPOやボランティアなど、
協働のパートナーである市
民活動団体への継続支援

国際交流・男女共同参画

● 富士市国際化推進プランに
基づく外国人市民への支援
● 日本語教室や防災講座の開
催

● 第3次富士市男女共同参画
プランに基づく男女共同参
画社会の実現

広域行政

● 富士山ネットワーク会議の
4市1町において住民意識
調査を実施

● 富士宮市との電算処理シス
テムの共同化を検討



各国の歌や踊りを通して国際交流



平成22年に移転改築した鷹岡まちな
くりセンター

新副市長紹介

市議会2月定例会で、小林卓氏と金指健司氏の副市長への就任が全会一致で決ま
りました。任期は、4月1日から4年間で
す。

副市長は、市長の補佐、職員の担任する事務の監督、市長の職務代理などの職務に加
え、担当分野の政策の執行に当たります。



小林 卓 副市長

昭和44年4月、富士市役所に奉職して以来、総務
部企画課長、総務部総務課長、議会事務局長、総務
部長などを歴任。平成19年4月から副市長を務める。
64歳。

【担当分野】

● 総務部・市民部・福祉部・保健部・中央病院・消
防本部に属する事務
● 議会・教育委員会・選挙管理委員会・公平委員会
に関する事務



金指 健司 副市長

昭和47年4月、富士市役所に奉職して以来、商工
農林部工業振興課長、商工農林部長、総務部長など
を歴任。平成22年4月から(社)富士市シルバー人材
センター常務理事兼事務局長を務める。61歳。

【担当分野】

● 財政部・環境部・商工農林部・都市整備部・上下
水道部・建設部・工事検査室に属する事務
● 会計室・農業委員会・監査委員・固定資産評価審
査委員会に関する事務

平成23年度富士市当初予算の概要

健やか安心

活カアップ予算

「富士山のふもと しあわせを実感できるまち ふじ」を目指し、厳しい経済財政状況ですが、事業見直しを進め、未来に向けて安心して暮らせるまちづくり、にぎわいと活力ある産業都市づくりを重点を置いた「健やか安心活カアップ予算」を編成しました。

一般会計予算額は過去最大

822億 円



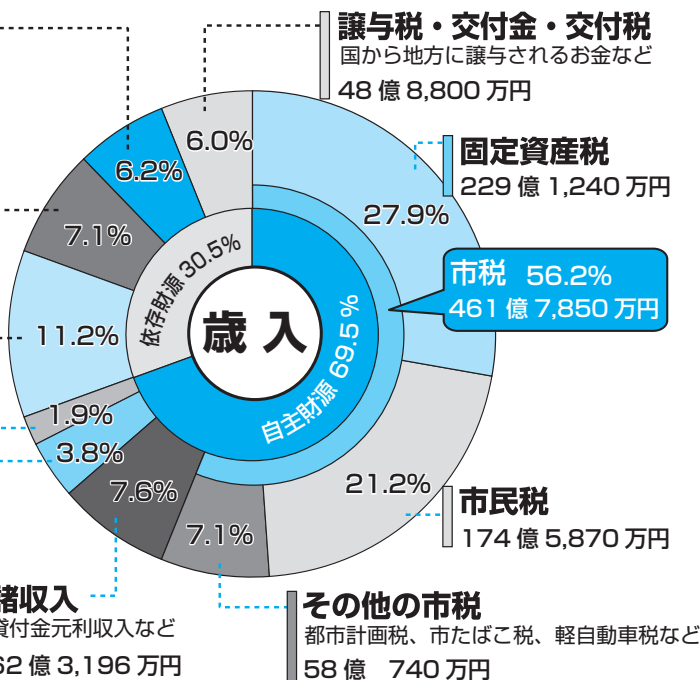
区分	平成23年度当初予算	平成22年度当初予算	増減額	増減率
一般会計	822億 円	820億 円	+ 2億 円	+ 0.2%
特別会計	517億 9,716万円	496億 7,030万円	+ 21億 2,686万円	+ 4.3%
企業会計	189億 1,341万円	182億 7,680万円	+ 6億 3,661万円	+ 3.5%
計	1,529億 1,057万円	1,499億 4,710万円	+ 29億 6,347万円	+ 2.0%

▲ 前年度予算との比較

一般会計

福祉や道路、教育など、行政の基本的な事業を行うために設けられた会計

自主財源 市が独自に収入することができるお金
依存財源 国や県などから入ってくるお金



- 県支出金** 県からの補助金など 50億 8,674万円
- 市債** 国や金融機関からの借入金 58億 5,010万円
- 国庫支出金** 国からの補助金など 92億 4,020万円
- 繰越金ほか** 前年度からの繰越金や繰入金、寄附金、財産収入など 15億 6,529万円
- 分担金及び負担金、使用料及び手数料** 市営住宅使用料、施設入所者の負担金など 31億 5,921万円
- 諸収入** 貸付金元利収入など 62億 3,196万円

予算は過去最高額

平成23年度の予算規模は、平成22年度に比べ一般会計が2億円の増加となる822億円、企業会計を含む特別会計が707億1057万円、合わせて1529億1057万円となっています。予算全体では、平成22年度当初予算に比べ2.0%増加しています。

一般会計予算の歳入のうち、市税の総額は、461億7850万円、平成22年度に比べ970万円ふえています。これは、家屋の新増築による固定資産税の増収と、企業収益の回復傾向により法人市民税の増収が見込まれることによるものです。

しかし、平成21年度と比べると法人市民税は92パーセントにとどまり、また、個人市民税についても、不況による企業業績の悪化が個人の所得減少につながって、大幅減収になっています。

自主財源比率は69・5%

自主財源とは、市税や公共施設の使用料、住民票の発行手数料など市独自に収入することができるお金のことです。市民や企業の皆さんが納める税金が、自主財源のうち8割以上を占めています。

平成22年度に比べ、自主財源比率は、2.1ポイント低下したものの、富士市は他市と比べて自主財源比率が高く、自立度が高い自治体と言えます。

予算額

189億1,341万円

病院事業 141億41万円



中央病院は、市民の皆さんに、安全でよりよい医療を提供し、医療の向上に努めます。

水道事業 48億1,300万円

安全でおいしい水道水を安定的に供給するため、施設の整備や更新を進めます。



企業会計

独立採算を原則とする事業を行うために設けられた会計

国民健康保険

予算額 介護保険の給付が15億円増加

517億9,716万円

富士市には19の特別会計があります。

ただし、表中では内山特別会計ほか、10の会計（旧今泉・一色・神戸・今宮、須津山、鈴川財産区など）を省略してあります。

特別会計名	予算額
国民健康保険事業	251億7,000万円
後期高齢者医療事業	36億2,600万円
介護保険事業	139億1,000万円
下水道事業	71億7,000万円
新富士駅南地区土地区画整理事業	9億6,500万円
第二東名IC周辺地区土地区画整理事業	4億7,800万円
駐車場事業	7,800万円
公共用地先行取得事業	1億135万円

特別会計

市が特定の事業を行う場合や、特定の収入をもって特定の事業の費用に充てるために設けられた会計

■本年度の新規事業■

(一部抜粋)

- 火災・地震などの災害及び救急活動強化のための整備
1億2,536万円
- ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン接種に対する助成拡充
1億720万円
- 子宮頸がん予防ワクチン接種に対する助成
1億6,008万円
- 周産期医療体制の充実に向けた中央病院施設整備事業
9,800万円
- 富士川楽座施設改修事業
2億7,242万円
- 学校OA化推進事業
1億8,574万円
- 富士市立高校の開校
2,655万円

消防費

消防・防災対策などに
35億2,592万円

労働費

働く人のために
51億506万円

公債費

市債の償還金
72億8,379万円

教育費

学校整備や社会教育などに
75億9,081万円

商工費 ほか

産業振興などのために
42億208万円

民生費

社会福祉などに
264億3,353万円

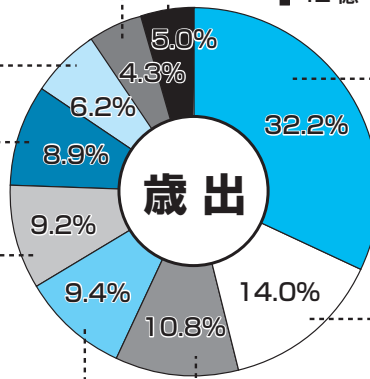
土木費

道路や河川などの整備に
114億7,401万円

衛生費

保健医療や環境対策などに
88億6,920万円

歳出



総務費

まちづくり活動や戸籍の管理などに
77億1,560万円

歳出を

市民1人当りに換算してみると

国や金融機関から長期にわたってお金を借りる市債は、将来にわたって利用される道路や建物などの整備資金を、将来の世代の人たちにも負担してもらうものです。
平成23年度の市債は、58億5010万円、平成22年度に比べ1億7140万円の増加となります。新規借入債は償還元金以下に抑えていて、平成23年度末の市債残高は681億5325万円、平成22年度末に比べ2億4188万円減少する見込みです。

新規借入債は償還元金以下に抑え、市債残高を圧縮

○民生費

10万1056円

○土木費

4万3895円

○衛生費

3万3907円



さらに詳しい内容は、市ウェブサイトでごらんいただけます。

■問い合わせ 財政課■

TEL 0545-27-2110 FAX 0545-09006
@zaisei@div.city.fuji.shizuoka.jp

「第二次富士市環境基本計画」

を策定しました

～富士山の恵みをみんなで守り、育て、ともに生きるまちを目指して～

富士山の恵みを将来の世代に引き継いでいくために、平成13年度に「富士市環境基本計画」を策定し、個別計画に基づく施策を実施してきました。

今回、計画期間が終了することを受け、旧計画を引き継ぐとともに、環境を取り巻く情勢の変化などを踏まえ、計画の見直しを行い、「第二次富士市環境基本計画」を策定しましたので紹介します。

計画策定の経緯と特徴

市は、豊かな「富士山の恵み」によってはぐくまれ、紙のまちとして発達し、産業都市として着実な歩みを遂げてきました。今日の社会経済システムの定着は、利便性の高い快適な生活をもたらしてきました。その一方、私たちの身近な自然環境や生活環境への環境負荷を増大させたり、地球温暖化をはじめ地球規模の環境問題を引き起こしたりしています。

環境への負荷を低減し、将来の世代に継承できる環境を守り、育てていくためには、私たちの生活様式と現代の社会構造のあり方そのものを見直していくことが求められています。

このような状況を踏まえ、平成13年度に「富士市環境基本計画」を策定し、計画に基づく施策を実施してきました。

地球温暖化対策を計画に盛り込む

「富士市環境基本計画」の計画期間が終了することを受けて、計画の見直しを行い、「第二次富士市環境基本計画」を策定しました。この計画は、温暖化対策をより一層推進するために、環境基本計画に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を含め、一体化した計画になっています。

計画の目標達成期間

平成23年度～平成32年度までの10年間
※ただし、社会情勢や環境情勢の変化などにより、必要に応じて見直します。

望ましい環境像

21世紀半ばを展望した市の環境のあるべき姿を表現しました。

「富士山の恵みを、みんなで守り、育て、ともに生きるまち」

この実現を目指し、市民・事業者・市の、すべての主体が、市の取り組みや環境配慮指針を推進していきます。

◆基本目標◆

- 基本目標1 富士山がはぐくむ豊かな自然を守り活かすまちづくり【自然環境】
- 基本目標2 環境への負荷の少ない安心で健全なまちづくり【生活環境】
- 基本目標3 自然や風土に配慮した暮らしやすいまちづくり【快適環境】
- 基本目標4 次世代に継承する地球にやさしいまちづくり【地球環境】
- 基本目標5 パートナリシップで進める環境と調和するまちづくり【パートナリシップ】

地球温暖化対策実行計画 (区域施策編)

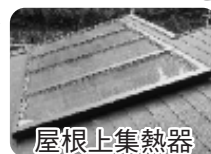
市は、温室効果ガス削減のため、「富士市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定しました。この計画を基本目標4に位置づけ、全体で地球温暖化対策に取り組む、目標達成に向け実践していきます。

●削減目標

市全体における温室効果ガス排出量を基準年度の平成2年度と比較して、平成24年度までに10%削減。平成32年度計画終了年度までに23%削減を目指します。

●個別目標

①エネルギーを大切にして地球温暖化を防ごう



屋根上集熱器

太陽エネルギーの利用推進として、太陽光発電・太陽熱利用設備の公共施設への積極的な導入、市民・事業者の太陽エネルギー利用支援(次世代型ソーラーシステム導入支援の新規開始)など

②地球にやさしい暮らし方で地球温暖化を防ごう

低炭素型ライフスタイルの普及拡大、環境教育と啓発活動の推進など

③低炭素なまちづくりで地球温暖化を防ごう

環境にやさしい交通体系の整備など
④ごみを減らして地球温暖化を防ごう
ごみの減量化の推進、下水道の普及促進など

「富士市地球温暖化対策実行計画」と「富士市グリーン購入基本方針」を改定しました

「富士市環境基本計画」に関連し、市役所みずからが実行している「富士市地球温暖化防止対策実行計画（第二次計画）」と「富士市グリーン購入基本方針」の計画期間が終了しました。また、地球温暖化対策の推進に関する法律の改正にあわせ、「富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」と「富士市グリーン購入基本方針」を改定しました。

富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

平成21年度の温室効果ガス排出量（約7万2000トン）を基準として、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間で全体の9・9%（約7000トン）の削減を目指します。

計画期間と削減目標値

区分	基準年度（平成21年度） 温室効果ガス排出量実績値	目標年度（平成27年度） 削減目標	
	CO ₂ 排出量 (トン)	CO ₂ 排出量 (トン)	削減率 (%)
①市役所独自に取り組むことのできる温室効果ガス排出量	35,662.3	▲2,087.0	▲5.9%
②一般廃棄物焼却に伴う排出量	32,945.6	▲4,940.7	▲15.0%
③下水・し尿処理に伴う排出量	1,794.2	191.2	10.7%
④車両の使用に伴う排出量	785.3	0.0	0.0%
⑤笑気ガスの使用に伴う排出量	334.8	▲223.2	▲66.7%
①～⑤を合わせた温室効果ガス総排出量	71,522.2	▲7,059.7	▲9.9%

※計画は、平成27年度に見直しを行います。

富士市グリーン購入基本方針

グリーン購入とは

市は、すべての購入物品を環境負荷の低い物品（エコマークなどのついている商品、再生紙を使用した商品など）にするよう努めます。また、物品を購入するときは、必要性と適正量を十分検討して、購入総量を抑制します。

購入対象品目

平成23年度は、グリーン購入の対象品目として、紙類、文具類、OA機器など168品目を定めました。

方針の見直しと公表

基本方針は、平成27年度に見直しを行います。なお、購入対象品目を定めた購入方針、購入状況については、毎年公表をしていきます。

計画期間の進行管理

「富士市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」と「グリーン購入基本方針」を円滑かつ確実に、継続的に改善しながら実行していくために、**富士市環境マネジメントシステム**を使い、計画の進行管理を行います。

※ISO14001の認証は、平成22年度で返上し、ISO14001を運用する中で培った手法を生かしながら、より実効性のある市独自の環境マネジメントシステムを構築し、平成23年度から運用を開始しました。

「富士・愛鷹山麓地域環境管理計画」を見直しました

この計画は、富士・愛鷹山麓地域の「自然環境の保全と創造」や「自然の節度ある利用」を図っていくための総合的な環境管理のあり方を定めた長期計画です。

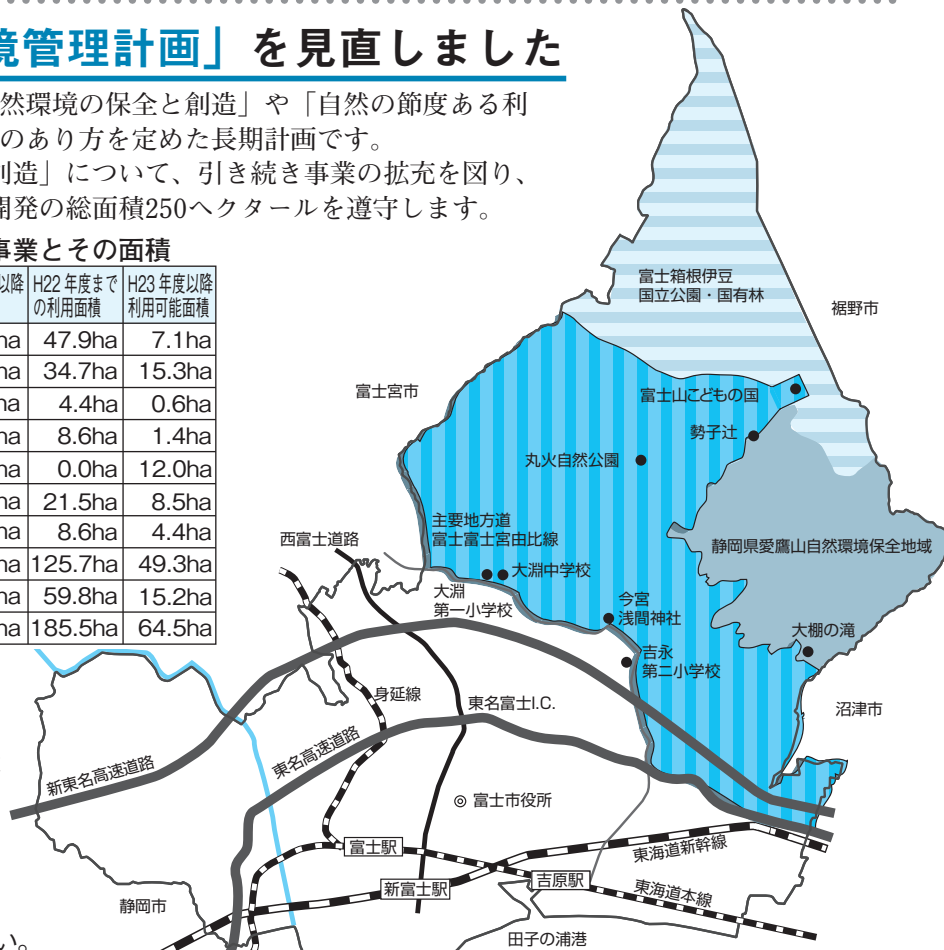
今回の見直しでは、「自然環境の保全と創造」については、引き続き事業の拡充を図り、「自然の節度ある利用」については、重度開発の総面積250ヘクタールを遵守します。

森林地域における想定される土地利用事業とその面積

土地利用の視点	想定される土地利用事業	H23年度以降の面積	H22年度までの利用面積	H23年度以降利用可能面積
まちづくりの基盤整備事業 富士市の発展、活性化などまちづくりの基盤整備としての土地利用事業	①道路などの社会資本整備事業	55ha	47.9ha	7.1ha
	②頭脳集積センター・工業団地整備事業	50ha	34.7ha	15.3ha
	③高次教育機関整備事業	5ha	4.4ha	0.6ha
	④公園・霊園整備事業	10ha	8.6ha	1.4ha
	⑤住宅整備事業	12ha	0.0ha	12.0ha
	⑥産業廃棄物など処理事業	30ha	21.5ha	8.5ha
	⑦その他必要な土地利用事業	13ha	8.6ha	4.4ha
	①から⑦までの合計	175ha	125.7ha	49.3ha
市民生活の質的向上のための土地利用事業	文化・教養、アウトドアなどの土地利用事業	75ha	59.8ha	15.2ha
合計		250ha	185.5ha	64.5ha

計画対象地域の概要図

- 富士箱根伊豆国立公園・国有林
- 静岡県愛鷹山自然環境保全地域
- 計画対象地域 約6,700ha



問い合わせ 環境総務課

☎55-2901 FAX55-0522

※詳しくは、市ウェブサイトをごらんください。

募 集

野外コース管理及び施設管理 補助員

少年自然の家 ☎35-1697
対 象／健康で、野外活動のできる人
雇用期間／5月6日～10月31日
勤務時間／8:30～17:00
賃 金／日額6,210円
申し込み／4月20日～22日に、市販の履歴書に必要事項を記入し、直接少年自然の家へ
※履歴書提出時に、面接試験の日時を決定します。

農業委員会の適正な事務実施 についての意見

農業委員会事務局 ☎55-2880
農業委員会では、適正に事務を実施するため「平成22年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価(案)」及び「平成23年度の目標及びその達成に向けた活動計画(案)」を取りまとめて、市ウェブサイト公表します。これについて農業者の皆さんから意見を募集します。
提出方法／4月8日～5月9日に、郵送またはFAX・Eメールで、〒417-8601 富士市役所農業委員会事務局へ ☎51-1997
✉in-nougyou@div.city.fuji.shizuoka.jp

おしえてヨールど ☎53-1111

第6回富士ばらまつり

中止のお知らせ

みどりの課 ☎55-2793

5月15日(日)に予定されていた第6回富士ばらまつりは中止になります。

5月の市役所休日開庁日

開庁日／5月1日(日) 9:00～16:00
開庁窓口／
★市民課 (☎55-2746)
★国民健康保険課 (☎55-2751)
★収納課 (☎55-2730)

※計画停電が実施された場合は、日程が変更になる場合があります。

思春期こころの相談

健康対策課 ☎64-8994
と き／5月12日(木)、6月14日(火)
13:00～16:00
ところ／フィランセ東館相談室
内 容／臨床心理士による無料相談
対 象／小・中・高校生などとその保護者
申し込み／事前に予約が必要です。
電話で健康対策課へ
※心療内科・精神科の治療を受けている人は相談できません。

下水道事業受益者負担金

下水道総務課 ☎55-2801
新たに下水道が整備された区域内にある土地の所有者、申告を行った地上権者などに対し、翌年度に一度だけ賦課されます。
金 額／250円×所有する土地の面積(平方メートル)
納付方法／一括納付または分割納付(年4回払いで4年間、計16回)
※全額、またはそれぞれの年分を一括で納付すると、支払い額が安くなります。
※農地に対する賦課猶予制度があります。

花苗を無料配布します

～平成23年度 花いっぱい運動～

みどりの課 ☎55-2793
対 象／公共性のある花壇(企業・事業所・個人宅は対象となりません)
配布苗・配布日時／
★サルビア、マリーゴールド
6月9日～11日 9:00～11:30
★パンジー、アリッサム
11月10日～12日 9:00～11:30
ところ／広見公園西側多目的広場
申し込み／4月22日(金)(必着)までに、申込用紙(みどりの課で配布。市ウェブサイトダウンロード可)に必要事項を記入し、直接または郵送・FAXで、〒417-8601 富士市役所みどりの課へ ☎53-2772
※1年分を一括でお申し込みください。
※初日は大変混雑します。金・土曜日の受け取りにご協力ください。
※申請状況により、受け取り日時を調整する場合があります。

お知らせ

労務相談の日程が変わります

市民安全課 ☎55-2750
と き／毎月第2・4火曜日
13:00～15:00
ところ／市民相談室(市役所3階北側)
相談内容／労働条件、各種社会保険など
相談員／社会保険労務士
相談料／無料(当日直接会場へ)
※秘密は厳守します。

自衛隊採用制度説明会

市民課 ☎55-2746
受験・採用に関することについて説明します。
と き／4月23日(土) 10:00～15:00
ところ／今泉まちづくりセンター第2研修室
申し込み／当日直接会場へ
問い合わせ／〒417-0041 御幸町13-5 自衛隊富士地域事務所 ☎51-1719

国民健康保険 出産育児一時金 に関するお知らせ

国民健康保険課 ☎55-2751
4月1日以降の出産に対する出産育児一時金の支給金額は、3月31日までと同様、42万円です。
また、4月1日からは受取代理制度が開始されていますが、現在、市内ではこの制度を利用できる医療機関はありません。
詳しくは、国民健康保険課へお問い合わせください。
《出産育児一時金の支給金額》
42万円
《直接支払制度利用の申し込み》
出産を予定している医療機関へ

ラジオエフ Radio-f 84.4FM
富士市インフォメーション 月～金曜日 7:30～、14:30～、17:30～

夜間・日曜納税相談

4月25日(月) 17:00～19:00
5月1日(日) 9:00～16:00
※計画停電実施の場合、中止になります。
収納課 ☎55-2730

明るい選挙推進協議会委員

選挙管理委員会 ☎55-2879

任期／2年
対象／市内在住の20歳以上の人
定員／15人程度（応募者多数の場合抽せん）
申し込み／5月2日(月)までに、はがきまたはEメールに住所、氏名、年齢、職業、応募理由、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市選挙管理委員会へ

☒ in-senkyokanri@div.city.fuji.shizuoka.jp

第12回 静岡県障害者スポーツ大会「わかふじスポーツ大会」参加者

障害福祉課 ☎55-2911

と き	競技・会場
9月4日(日)	フライングディスク (草薙総合運動場陸上競技場) ソフトボール (榛原総合運動公園ぐりんぱる)
9月11日(日)	フットベースボール(藤枝特別支援学校グラウンド) ボウリング(狐ヶ崎ヤングランドボウル) アーチェリー (清水総合運動場アーチェリー場)
9月18日(日)	総合開会式・陸上(草薙総合運動場陸上競技場) 車いすダンス(静岡県武道館)
9月19日(月) 敬老の日	バスケットボール・車椅子バスケットボール 車椅子ツインバスケットボール (草薙総合運動場体育館) 卓球(静岡県武道館) ポッチャ(静岡市中央体育館)
9月25日(日)	水泳(県富士水泳場) グランドソフトボール (小笠山総合運動公園グラウンド) サッカー (小笠山総合運動公園人工芝ピッチほか)
10月1日(土)	電動車椅子サッカー (静岡県武道館)
10月2日(日)	バレーボール (草薙総合運動場体育館)

対象／平成23年4月1日時点で満12歳以上の身体障害者・知的障害者・精神障害者(障害区分・年齢によって競技種目に制限があります)

申し込み／4月18日～5月13日に、直接または電話で、**個人競技**は障害福祉課、**団体競技**は静岡県障害者スポーツ協会へ

問い合わせ／静岡県障害者スポーツ協会 ☎054-221-0062

4月の教育委員会会議

4月定例会を次のとおり開催します(傍聴できます)

と き／4月20日(水) 13:30～
ところ／市役所 9階第2委員会室
教育総務課 ☎55-2865

廃棄物減量化等推進審議会 市民代表委員

廃棄物対策課 ☎55-2769

任期／委嘱の日～平成25年6月30日(会議は平日の昼間2～3時間程度年2～3回を予定)
募集人数／3人程度(書類選考)
応募資格／市内在住の満18歳以上の人
報酬／1回につき1万円
申し込み／5月6日(金)までに、応募用紙(廃棄物対策課で配布。市ウェブサイトダウンロード可)に必要事項を記入し、直接または郵送・FAX・Eメールで、〒417-8601 富士市役所廃棄物対策課へ

☎51-0522

☒ ka-haikibutu@div.city.fuji.shizuoka.jp

富士市食育推進会議委員

保健医療課 ☎55-2884

任期／7月5日～平成25年7月4日(会議は平日の昼間で、年3回程度を予定)
募集人数／3人(応募者多数の場合、選考)
応募資格／市内在住・在勤の満18歳以上の人
報酬／1回につき1万円
応募方法／5月20日(金)(消印有効)までに、直接または郵送・FAX・Eメールに住所、氏名、生年月日、電話番号を記入し、食育に関する意見(400字程度)を添えて、〒417-8601 富士市役所保健医療課へ ☎53-5586
☒ ho-iryuu@div.city.fuji.shizuoka.jp
※Eメールの場合は、タイトルを「富士市食育推進会議委員の公募について」としてください。

富士市思春期保健検討会委員

健康対策課 ☎64-8994

任期／7月7日～平成25年3月31日(会議は年2回を予定)
募集人数／3人
応募資格／市内在住・在勤・在学の18歳以上の人
報酬／1回につき7,000円
申し込み／5月6日(金)までに、直接または郵送・FAX・Eメールに住所、氏名、生年月日、電話番号を記入し、思春期の子どもの心身の健康に関する意見(400字程度)を添えて、〒416-8558 フィランセ健康対策課へ ☎64-7172
☒ ho-kenkou@div.city.fuji.shizuoka.jp

平成24年 富士市成人式 実行委員

社会教育課 ☎55-2873

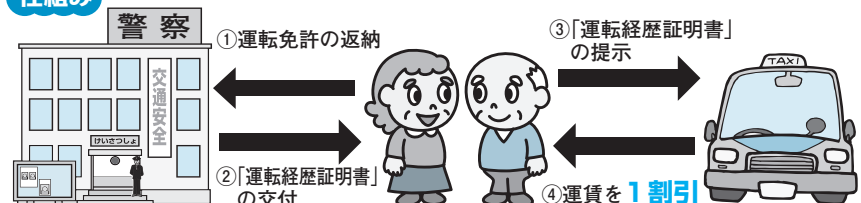
任期／6月～平成24年1月(新成人中心の会議を月1回程度19:00からを予定)
内容／成人式の内容の検討、案内状などの作成、当日に司会などの役で出演
募集人数／若干人(書類選考)
応募資格／市内在住または富士市出身の平成3年4月2日～平成4年4月1日に生まれた人
申し込み／5月6日(金)までに、応募用紙(社会教育課で配布。市ウェブサイトダウンロード可)に必要事項を記入し、直接または郵送・FAX・Eメールで、〒417-8601 富士市教育委員会社会教育課へ ☎53-8525
☒ ky-syakaikyoku@div.city.fuji.shizuoka.jp

65歳以上の運転免許返納者のタクシー運賃が1割引になります

市民安全課 ☎55-2831

65歳以上の運転免許返納者は、タクシー利用時に、公安委員会が発行する「運転経歴証明書」を提示すると、タクシーの運賃が1割引になります。
市内で割引を実施するタクシー会社/石川タクシー富士、岳南タクシー、シンフジハイヤー、鷹岡タクシー、田子の浦タクシー、東海交通、トンボ交通、富士交通、富士タクシー、平和タクシー

仕組み



庭木盆栽教室

岩松まちづくりセンター ☎63-5210
と き／5月25日～平成24年3月28

日の原則第2・4水曜日
13:30～15:30 計16回

ところ／岩松まちづくりセンター
内 容／季節の庭木や盆栽の手入れ
対 象／市内在住・在勤のおおむね
60歳以上の人

定 員／50人(応募者多数の場合抽せん)
受講料／5,300円(材料費含む)

申し込み／5月10日～12日の9:00～
21:00に、はがきを持参または往復
はがきに住所、氏名、年齢、性別、電
話番号、市外在住の人は勤務先、教
室名を記入し、〒416-0909 松岡
837-7 岩松まちづくりセンターへ

スポーツ指導者講習会 ～スポーツ指導のスキルアップ～

スポーツ振興課 ☎55-2722

と き／5月9日(月)19:00～(受付18:30～)
ところ／消防防災庁舎7階大会議室

内 容／スポーツ栄養学、プチストレッチ
講 師／佐藤厚子さん(ひかり整体院長)
対 象／市内在住・在勤でスポーツ
指導に携わる人

定 員／50人程度(応募者多数の場
合抽せん)

参加費／無料 持ち物／筆記用具

申し込み／5月6日(金)(必着)までに、
市ウェブサイトまたはモバイルサイ
トで電子申請するか、FAXに住所、
氏名、年齢、電話番号を記入し、ス
ポーツ振興課へ ☎57-0177

講座・教室

クレー射撃を始めよう！ 初心者射撃教室

スポーツ振興課(富士市体育協会) ☎53-6045

と き／①4月30日(土) ②5月29日
(日) ③9月4日(日) ④10月30日(日)
各8:00～12:00

ところ／岩本山射撃場
内 容／クレー射撃の心構え、注意
事項、魅力についてなど

対 象／一般の人
定 員／20人(応募者多数の場合抽せん)

受講料／1回500円(保険料含む)
申し込み／各開催日までに直接会場へ
問い合わせ／岩本山射撃場
☎61-6808

パソコン講習会

初心者のためのデジカメ・パソコン講座

シルバー人材センター ☎53-1150

と き／5月7日～28日の毎週土曜
日 13:00～15:00 計4回

ところ／ラ・ホール富士7階OALーム
対 象／初心者レベルの人

定 員／20人(先着順)
受講料／4,600円(資料代ほか含む)

持ち物／デジタルカメラ
申し込み／4月20日～22日の9:00～
16:00に、電話でシルバー人材セン
ターへ
※受講生5人に対してアシスタント
が1人つきます。

募 集

似顔絵展覧会

富士市交流プラザ ☎65-5523

と き／5月1日～6月12日
ところ／富士市交流プラザ2階ギャ
ラリー

対 象／市内在住の未就学児
定 員／200人(先着順)

申し込み／4月19日(火)の8:30から受
け付けます。四つ切り画用紙サイ
ズ(38センチメートル×54センチ
メートル)以内の用紙にお父さん
・お母さんなど家族の似顔絵を描
き、裏面に住所、氏名、電話番号を
記入し、直接富士市交流プラザへ
※1人2作品まで応募できます。
※出展者全員に記念品を贈呈します。

5月8日～14日は看護週間です 「ふれあい看護体験」参加者

保健医療課 ☎55-2739

看護師とともに、看護することや
人の生命について理解と関心を深め
てみませんか。

と き(5月)	施 設	定 員
9日～31日 (土・日曜日は除く) 8:30～15:00	静岡富士病院 〒418-0103 富士宮市上井出814	2人
11日(水) 9:00～15:00	いきいきリハビリ テーション病院 〒419-0205 天間 1640-1	6人 (65歳までの人)
12日(木) 8:30～15:00	富士宮市立病院 〒418-0076 富士宮市錦町3-1	10人
12日(木)・13日(金) 9:00～17:00	介護老人保健施設 富士ケアセンター 〒418-0035 富士宮市星山 1129	1人
13日(金) 9:00～16:00	共立蒲原総合病院 〒421-3306 中之郷 2500-1	4人
13日(金) 10:00～15:00	大富士病院 〒417-0809 中野 249-2	3人
19日(木)・20日(金) 9:00～15:00	新富士病院 〒417-0801 大淵 3900	6人 (40歳代までの人)
21日(土) 9:00～15:00	渡辺病院 〒417-0045 錦町 1-4-23	4人

申し込み／4月25日(月)(必着)までに、
往復はがきに希望施設名、希望理
由、住所、氏名、年齢、性別、電
話番号、洋服サイズを記入し、希
望する施設の「ふれあい看護体験
係」へ

問い合わせ／静岡県ナースセンター
☎054-202-1761

介護する人にやさしい社会へ 介護マークを配布します！

配布窓口／介護保険課、障害福祉課、
各地域包括支援センター

配布対象者／家族を介護している人

●こんなときに利用しましょう●

- ・駅やサービスエリアなどのトイレで付き添うとき
- ・男性介護者が女性用下着を購入するとき など

このマークを
見かけたら、
温かく見守っ
てください。



問い合わせ 介護保険課 ☎55-2767

4月の水道料金・下水道使用料 お客様センター ☎55-2846

～納入は便利で確実な口座振替で～

申し込み／直接、市指定金融機関の窓口へ
持ち物／通帳・印鑑(届印)・水栓番号(各世
帯配付の「使用水量等のお知らせ」に記載)

※納入は2か月に1度です(地区によって納入月が異なります)。

○納入期限 4月30日(土)

(納入通知書は、4月中旬に郵送します)

○口座振替日 4月28日(木)



手話奉仕員 養成講座（入門編）

障害福祉課 ☎55-2911

と き／5月17日～12月6日の火・日曜日（火曜日19:00～21:00、日曜日10:00～15:00）計26回（予定）

ところ／フィランセ西館2階ふくし体験・学習室

対 象／市内在住・在勤の人で今後聴覚障害者とともに活動できる、手話奉仕員を目指している人

定 員／60人（応募者多数の場合、選考）

受講料／無料（別途テキスト代が必要）

申し込み／5月6日（金）までに、電話で障害福祉課へ

※養成期間は2年間（1年目は入門編、2年目は基礎編）。

親子スポーツ教室

～跳び箱・鉄棒・ボール運動・レクリエーションなど～

スポーツ振興課 ☎55-2876

と き／5月27日からの毎週金曜日19:00～21:00 計4回

ところ／市立富士体育館体育室

対 象／市内在住の小学生とその保護者

定 員／40組（応募者多数の場合抽せん）

内 容／①跳び箱運動 ②鉄棒運動 ③縄跳び ④ボール運動 ⑤レクリエーション

受講料／1人500円（保険料含む）

申し込み／5月6日（金）（必着）までに、市ウェブサイトまたはモバイル

サイトで電子申請するか、往復はがきに住所、参加する保護者・

子どもの氏名、学校名・学年、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市教育委員会スポーツ振興課へ

※受講決定者以外の参加は認めません。

※計画停電の実施時間によっては、中止となる日もあります。

パソコン入門、エクセル2007応用、パソコン水彩画

りぶす富士（ラ・ホール富士） ☎53-4300

教室名	と き（計12回）	と ころ	定 員	受 講 料
パソコン入門 インターネット&メール教室	6月6日からの毎週月曜日 10:00～12:00	ラ・ホール富士 7階OAルーム	各20人	各1万2,000円 （テキスト代含む）
エクセル2007応用教室	6月6日からの毎週月曜日 19:00～21:00			
パソコン水彩画教室	6月8日からの毎週水曜日 19:00～21:00			

申し込み／5月9日～15日（必着）に、直接またはFAX・はがきに住所、氏名、年齢、生年月日、電話番号、教室名（時間帯）を記入し、〒417-0052 中央町2-7-11 ラ・ホール富士へ ☎53-2040 <http://fuji-kousya.jp>

※FAXの場合は、りぶす富士ウェブサイトに掲載してある送信様式も利用できます。※応募者多数の場合抽せん。当せん者のみはがきで通知します。

リトミック教室・韓国語教室・ふれあいホール試弾会

りぶす富士（富士川ふれあいホール） ☎81-2333

教室名	と き	と ころ	定 員	受 講 料
①リトミック教室	5月20日～6月24日の毎週金曜日 10:00～10:45 計6回	富士川ふれあい ホール 2階和室	2～3歳児 とその親 10組	4,000円 （保険料含む）
②韓国語教室	5月24日～8月2日の毎週火曜日 19:30～21:00 計10回	富士川ふれあい ホール 2階講義室	20人	5,000円 （テキスト代含む）
③ふれあいホール 試弾会	①5月21日（土） ②5月31日（火） ③6月7日（火） 各10:00～	富士川ふれあい ホール 1階ホール	各30人	無 料

申し込み／①は4月15日～22日、②は4月28日～5月6日、③は4月20日（水）から受け付けます。直接またはFAX・はがきに住所、氏名、年齢、生年月日、電話番号（携帯番号も記入）、教室名を記入し、〒421-3305 岩淵855-39 富士川ふれあいホールへ ☎81-0203 <http://fuji-kousya.jp>

※FAXの場合は、りぶす富士ウェブサイトに掲載してある送信様式も利用できます。※①②は応募者多数の場合抽せん、③は先着順です。

●おわびと訂正●

平成23年度健康カレンダーに誤りがありました。おわびするとともに訂正します。

26ページ『こころ・認知症に関する相談事業』の『認知症高齢者の相談』認知

症の人と家族の会「すぎなの会」相談日 **（誤）土曜日→（正）月・木・土曜日**

4月の休日当直医

Available Hospitals in the Holiday
Pronto Socorro em atendimento fim de semana e feriados

ダイヤル当直医案内
☎51-9999

と き **産婦人科** Gynecology & Obstetrics
Gineco-Obstetrica
8:00～翌8:00

10(日) ロゼ・レディースクリニック 60-5747 蓼原町
17(日) 武田産婦人科医院 63-5122 宮 島
24(日) たむらレディースクリニック 65-7777 米之宮町
29(金) 中島産婦人科医院 51-4188 青島町

と き **眼 科** Ophthalmology
Oftalmologia
9:00～17:00

芦 川 病 院 52-2480 中央町2
天神眼科医院 23-7050 富士宮市
杉 浦 眼 科 65-8500 川成新町
花崎眼科医院 66-0100 青葉町

と き **耳鼻科** Otorhinolaryngology
Otorrinolaringologia
8:00～17:00

ぬまづ島田医院 924-0780 沼津市
崎 川 医 院 975-9131 清水町
よねやま耳鼻咽喉科医院 53-6885 永田町1
三島中央病院 971-4133 三島市

4月の接骨師会 休日当直当番

と き **柔道整復** Bonsetter
Clinica de osteopatia
9:00～17:00

名倉堂整骨院 63-5554 本市場
駅南望月整骨院 61-3405 横割本町
本市場もちづき接骨院 62-4754 本市場
近藤接骨院 52-5187 今泉3

救 急

Emergency Hospitals
Hospitals de emergencia

と き **内科・小児科・外科** Internal Medicine/Pediatrics/Surgery
Clinica Geral/Pediatricia/Cirurgias

救急医療センター ☎51-0099 津田217-2

平日19:00～翌8:00 土曜日14:00～翌8:00 日曜・祝休日 9:00～翌8:00

〈診療上の注意〉必ず保険証を持参してください。緊急性により診察順が変わり、投薬は1日分です。

と き **歯 科** Dentistry
Dentistas

歯科医師会館 ☎53-5555 伝法

日曜・祝休日 9:00～12:00

13:00～16:00

3月11日(金) 14時46分

宮城県三陸沖において
M9.0の大地震が発生

支
援



被災地へ向けて支援物資を搬送



いわき市に向けて出発した緊急消防援助隊静岡県隊

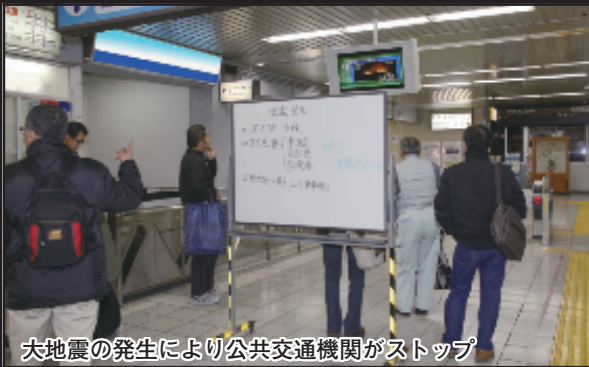


地震災害義援金の受け付け



被災地へ向けて出発

影
響



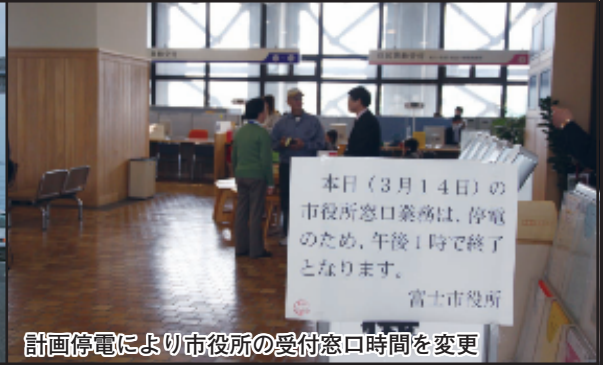
大地震の発生により公共交通機関がストップ



市内に設置された避難所の様子



計画停電により信号が消灯し、警察が誘導を実施



計画停電により市役所の受付窓口時間を変更

平成23年4月5日号(毎月5日・20日発行)

こちら編集室

自然の猛威の前では、人は余りに非力であることを思い知らされた3月でした。でも、さまざまな困難を克服してきたのも人間。英知と勇気を信じて。頑張れ東北!(卒業広報マン) 地震と停電の対応に追われる中、異動が決まりました。書くのを楽しんでいた「こちら編集室」も今

回は最後。これからも広報ふじをよろしく願います。(KYO) 皆さんに適切に「伝える」ことを意識して4年間広報ふじをつくりました。地震関連情報をお伝えした今号。今できることを皆さんが始めていただけたら光栄です。(異動内定M)

人口 261,574人 (前月比+52)
男 129,508人 (+44)
女 132,066人 (+8)
世帯 97,691世帯 (+98) 3月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123代 ☎0545-51-1456

おしえて
コマルふじ
53-1111
受付時間
8:30~19:00